

ハナ銀行 Webサイトの リニューアル プロジェクト



ハナ銀行 未来金融事業本部 e-金融事業部 オ・ヘリン 代理

**I-ON COMMUNICATIONSのコンテンツ
管理システム (I-ON Content Server)
でWebページ管理コスト及び時間を大幅
節減！！**

**金融系の状況に応じてカスタマイズ、
Web専門知識がなくても簡単に
Webコンテンツが製作できる**

今やインターネットが我々の生活のあらゆる場面に浸透し、もはや我々のビジネスにおいてはITの支援無しには... 現在の金融サービスを見ると、あらゆるIT機器で情報を自在に処理・利用できるようになった。

韓国の金融会社の場合、顧客に効果的なサービスを提供するにはコンテンツが未来への戦略だと認識して、投資と支援を続けていて、営業店並みの顧客向けWebサイトを提供することで新規市場の基盤作りに取り組んでいる。

去る2006年4月、ハナ銀行はWebサイトの企画段階を通じて6月にe-business部署を中心に、電算情報・貯金・カード・信託など各現業部署の実務者でTFTを構成し、国内外の主な企業を選定ならびに内部の評価作業を行った。

その結果、Webサイトの管理とともに要求条件をすべてクリアしたI-ON COMMUNICATIONS (以下、アイオン) のコンテンツ管理システムであるICS(I-ON Content Server)が最終選定された。ICS(I-ON Content Server)を導入して長期間管理および運用している中、顧客満足の上昇も満たせながらWebページの管理コストや時間を節減する効果があった。

今年は時代の流れに応じて、お客様の便宜性とコミュニケーションもさらにアップさせるなど、より高まったサービスを提供していくために部分的なリニューアルを行った。今回の事例では、ハナ銀行の運用チーム担当者より運用の重点やアイオンのソリューションを導入した理由、および今後の運用方向について伺った。



Q1. 現在、運用上に最も大事なところは何か。

常に正確さと即時な反映が大事だと思っている。各部署の担当者からの全ての意見を運用チームで処理するのは実に困難であった。そこで簡単な作業は各部署の担当者が直接作業をしてWebページへ適用するようにした。もし使用ツールが難しかったり、反映が即時でできなかったりしていたら、お客様に迅速かつ正確なサービスを提供することはできなかったと思う。

アイオンのソリューションはこの部分において、即時反映できるように迅速で安定的な配布ができて、運用上使いやすいツールで構成されている最適な製品だった。

また、最近アプリの方式を一般のTopメニュー構造からレフトメニュー構造にWebページの構造を変更したが、プロジェクトの工数計算（工程計画にとって各作業にかかる工数を計算）時に、アイコンの1つ1つごとに内容が作っているものを変更するとなると、ページ別に一々作り直さなければならなくて大変なことになるだろうと思っていた。

しかし、運用チームで利用しているアイオンのCMSは、特定の共

通の領域を修正すると、共通適用される機能があった。その機能を利用して簡単で容易に変更作業を行うことができた。

Q2. 他のソリューションに比べてアイオンのソリューションの魅力は何か。

他のソリューションとも比べてみたが、既にアイオンからハナ銀行用にカスタマイズしてくれた状態であった。それにこのソリューションを長い間利用してきて使い慣れていたし、自社で求める事項を正確に把握し製作してくれたので最適化していた。

アイオンのソリューションを導入する前は内部で管理者ページを作っていたが、アップデートが難しくてWebサイトの規模が大きくなっていくことから外国製CMSを使っていた。しかし、外国製CMSはカスタマイズができず単純な配布機能だけで、HTMLに詳しくないと使えなかった。

こうした時点で、銀行向けのカスタマイズができるアイオンのソリューションはとても魅力的だった。さらに教育を受けるだけでWebコンテンツを作りやすく配布までできるので正確かつ迅速な運用ができる。現在、このソリューションで即時な反映と安定的な配布など様々な特長に基づいて、Webページの管理コストや運用にかかる時間を節減することができて、とても優れたソリューションだと思い感謝している。

Q3. 最後にアイオンへのお願いと今後の運用について一言。

今後、検索機能とその結果についての報告される部分が強化されるのであれば、もっと競争力のある協力なソリューションになれると思う。より成長していく企業になって欲しい。ハナ銀行も様々なお客様が便利に利用できるようにして、お客様中心のサービスを提供できるように引き続き取り組んでいく。